



平成26年3月18日

蘇生時に脳を保護する世界初の医療機器が認可

＜概要＞ 蘇生時に脳を保護する世界初の医療機器が厚生労働省で認可されました。本装置は岡山大学と大研医器株式会社が共同開発したもので、のど(咽頭)を冷却することで血行性に脳を冷却し保護する装置です。心拍再開前より使用可能で、脳が最もダメージを受けている時に脳を保護することができます。心停止蘇生後の脳障害の軽減に寄与することが期待されます。

全国18施設の救命救急センター等で施行された臨床研究では、安全性と脳温低下に対する有効性が確認されています。医療機器として認可されたことで、一般病院でも蘇生時の脳保護に使用することが可能となります。

本日(3月18日)、岡山大学Jホール(鹿田)で開催する「医療展示会」に出展しております。ぜひご覧ください。

蘇生時に脳を保護する世界初の医療機器が厚生労働省で認可されました。本装置は岡山大学と大研医器株式会社が共同開発(商品名:クーデックアイクール)したもので、のど(咽頭)を冷却することで血行性に脳を冷却し保護する装置です。かき氷を食べたときに涼しく感じるのと同じ原理です。心拍再開前より使用でき、脳が最もダメージを受けている時に脳を保護することができます。また、心拍再開前より使用しても心臓や肺に悪影響を与えることはありません。早期に脳低温療法を施行することで、心停止蘇生後の脳障害の軽減に寄与することが期待されます。

本装置は2009年より日本全国18施設の救急救命センター等で使用され、臨床研究が行われてきました。その結果、心拍再開前より冷却を開始しても、心拍再開率に悪影響を与えず、脳の温度を早期に低下させる事が確認されています。医療機器として認可されたことで、一般病院でも蘇生時の脳保護に使用することが可能になります。また、将来的には蘇生の現場から脳冷却を開始できる携帯型装置を開発したいと考えています。



冷却カフ挿入時イメージ



クーデックアイクール本体

＜お問い合わせ先＞

岡山大学病院 集中治療部 准教授

武田 吉正

(電話番号)086-235-7778

(FAX番号) 086-235-6984